

サロンのあべの

VOL.160



頸髄損傷者の生活術

二十四時間介助体制の確立

サロン・あべの9月の出会い

99年9月18日(土)、午後1

時から、育徳コミュニティセンター12階研修室において、(サロン・あべの)9月の出会いを開催しました。

今回は「頸髄損傷者の生活術」
—24時間介助体制の確立—とい

うテーマで、大阪頸髄損傷者連絡会の後藤基泰もとすけさんにお話しをしていただきました。

後藤さんは、受傷から8年間の入院生活。15年間の在宅生活。3年間の施設での生活を経て、2年前から東成区のマンションで、単身生活をされています。

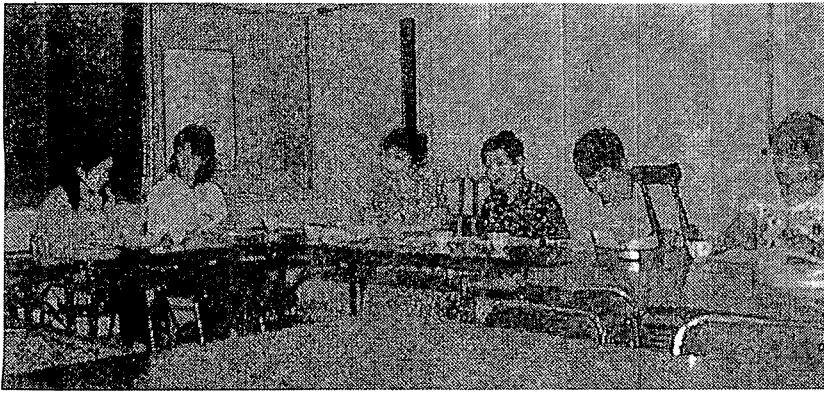
社協からのヘルパー派遣と市の全身性障害者介護人派遣制度だけでは、十分とは言えないのが現状です。

そんな中での日常生活には、介助と共に、自らの訓練と工夫も必要です。

日常生活

現在の生活状況
頸髄損傷の後遺症による両上肢不全、自律神経障害、体幹機能障害、排泄機能障害、狭心症などのため、生活行動全般において介助を必要としています。すなわち、24時間の介助体制が必要不可欠なのです。しかし、

日常生活
食事は、食べさせてもらっていましたが、介助者との息が合わないとい、気管に入りそうになるなど、危険な思いもしました。そこで、なんとか自分でできるようにと訓練をし、現在は、スプーンとフォークを使って、食べています。



排尿は、尿意を感じることが
できるので、その都度、介助者
に手伝ってもらっています。ま
た、時として、導尿を依頼する
場合もあります。

入浴は、週1回のデイサービ

スを利用。また、週1〜2回、
自宅で介助者に入浴させてもら
っています。ただし、浴室が狭
いので、慣れた介助者でない
と頼めません。

就寝中は、定期的に体位交換
が必要です。また、狭心症のこ
とも考えて、泊まりの介助者が
必要です。

歯磨きとひげそりは、自分で
できますが、衣服の着脱には、
介助者が必要です。

外出には、電動車椅子を使用
します。電車への乗降と、エス
カレーターを利用するときには、
万一の事故を考え、駅員に依頼
するようにしています。

そのほか、掃除、洗濯、裁縫
など家事全般は、介助者にして
もらっています。筆記とワープ
口操作は、かろうじて可能です。

24時間介助

障害者が主体的に、施設や家

族に依存することなく、生活を
するために、自分自身で介助
者を集めなければなりません。
それは、現在のヘルパー（介護
人）派遣制度では、1日7時間
程度しか利用できないからです。
また、その時間帯も制限されて
いるからです。

泊まり介助が必要であること
以外にも、生活のあらゆる場面
で介助が必要な障害者にとって、
24時間の介助が、制度的に受け
られなければなりません。

最後に

当日、配っていただいたレジ
メには、具体的な介助内容や、
頸髄損傷についての説明まで、
詳しく網羅されていました。

また、参加者からの質問や、
感想も次々に飛び交いました。
その中で印象的だったのが、介
助者の質に関するものでした。
マニュアルどおりの介助しか

できない人。自分の思い込みで
行動する人。とても義務的で、
時間ばかり気にする人。等々。

つまり、有償である以上は、
プロとしての仕事をこなしても
らいたい、ということなのです。
まだまだ、量的に不足している
面もあって、その質に疑問を感
じている人が多かったようです。
参加者18名。（上平幸雄）

感謝

カンパ、お茶菓子、お茶、バ
ザー用品等の寄贈、またサロン
グッズのお買上げありがとうございました。

- 秋山紀美子、伊勢隆雄、
- 井上きみ子、浦野清美、
- 岡 賀寿子、鈴木三佐子、
- 高山広也・玉枝、竹村定子、
- 藤井さゆり、吉原和朗、
- その他の方々、

ピア・カウンセリングを考える

—ありのままの自分を受け入れ、
生き生きとした生活を送るために—

19

伊藤智佳子

△障害者プランの個々の施策に関わる点

—1. 地域で共に生活するために—V

(3) 地域における相談・支援体制の整備
プランでは、概ね30万人当たり概ね
2カ所ずつを目標として

- 1 「市町村が行う心身障害児通園事業などの地域療育に対し、障害児通園施設などが指導・支援する事業」、
- 2 「地域で生活する精神障害者の日常生活の支援や日常的な相談への対応、地域住民との交流を支援する事業」、
- 3 「障害者に対して総合的な相談・生活支援・情報提供を行う事業」

【わが国におけるピア・カウンセリングの現状から確認できたこと②】

—障害者基本法、障害者基本計画、生活支援事業との関わりから⑥—

前号(VOL. 159)では、障害者プランの評価を、障害者プランの個々の施策に関わる点の一部についての評価を試みた。今回の号でも、引き続き障害者プランの個々の施策に関わる点の評価を整理する。

においても、移動・交通機関が完全に整備されているというわけでもない。そうした現状の中では、相談機関は、その近くに偶然住んでいた障害者には使いやすいものになっても、その地域の障害者全体の利益になるとは限らない。

さらに、障害をもつ者たちが利用しやすい相談機関の近くに、今まで住んでいた地域から障害をもつ者たちが移住し、ある地域にのみ障害をもつ者たちが増えることも想定される。これは、今まで住み慣れた場所で生涯を送るための施策の整備とは相反することにつながる。一つの相談機関がカバーする範囲の検討が、引き続き課題となると思われる。

(4) マンパワーの養成・確保はか

今回のプランでは、ホームヘルパーの増員が当面緊急に整備すべき課題の一つとして挙げられている。また、「マンパワーの養成・確保」として精神科ソーシャルワーカー、臨床心理技術者などの資格のあり方の検討や保健福祉

職員の質的向上などを施策の推進項目として挙げている。ただし、障害者プランスの中では、資格のあり方や質の向上のための方法などについては明確に示されていない。なお、1997年12月には、精神保健福祉士法が成立しており、これがソーシャルワーカーの資格制度の大きな展開・発展につながると思われる。しかし、その養成科目に関しては、福祉というよりも医療に重点が置かれているように思われる。確かに、精神科ソーシャルワーカー、臨床心理技術者などには、かなりの量的、質的な医療の知識が必要となるが、それと同様に、福祉、障害、障害をもつ本人たちの内面に関することへの学びが必要となる。

ホームヘルパーや施設職員の増員については、その数が少ない現状では、数を増やすことが第一の課題ではある。しかし、数を増やすことと質の高い介助者を養成することを同時に行わなければ、最終的には、利用する側が利用しやすい介助を得ることにはつながらない。介護福祉士養成校、厚生省指定

のホームヘルパー養成講座、その他の介助者養成講座などを提供する側の意識を今より以上に高めること、養成カリキュラムの深化・発展、提供する側の力量を今より以上に高めることが必要となる。

さらに、障害の種類や障害の特性に応じた対応のできる専門家の養成は必要であるが、それと同時に、障害をもつ本人がカウンセラーとして、つまりピア・カウンセラーとして障害をもつ利用者への援助を提供することが必要となる。すでに何らかの専門的トレーニングを受け、障害をもつ本人の視点に立って活動するということをすでに持っている数少ない障害をもつピア・カウンセラーたちが、ピア・カウンセラーを目指す人たちに、カウンセリングの技術面を含むトレーニングを行い得るような体制づくりが必要となる。そして、ピア・カウンセラーとして活動している人たちのスーパーバイザーの役割を果たす人たちも必要となると思われる。

朗読グループ「ぼけっと」のご協力で、
 ▲サロン・あべのV紙一五九号の録音テープ(六〇分)が出来ました。
 朗読テープ文庫

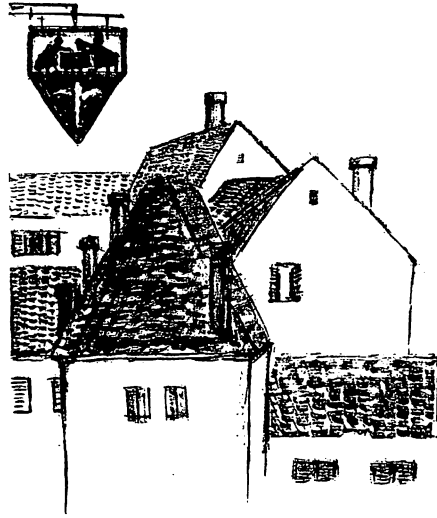
1. ▲サロン・あべのV紙は、第一号より一五九号までそろっています。(五〇号は、九〇分と六〇分の二本のテープに、一〇〇号は、一二〇分テープ二本)
 2. ▲サロン・あべのV十周年記念誌「はあとが、はろー!」(九〇分テープ二本十一二〇分テープに収録)
 3. 絵本「未知の記憶」(作・絵「中川勝彦」)
 4. 「ラジオたんぱ」放送「▲サロン・あべのV平成七年五月の出会い」放送分(三〇分)
 5. エッセー集「逃げた「ヨナ」くボラントイア活動の周辺」(岡本栄一著・糸でんわ音訳)
 6. 「キミたちだけじゃ困るんだく身障者だけで旅した十余年」(山田誠1995年著・糸でんわ音訳)
 7. 「金子みすゞへの旅」(島田陽子著九〇分テープ二本・糸でんわ音訳)
 8. 「タヤけ空のオニヤンマ」(牧口一二著・九〇分テープ四本糸でんわ音訳)
 9. 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著・九〇分テープ五本糸でんわ音訳)
- いずれもご希望の方には、ダビング、または貸出しをしますので、富田までお申し出ください。(☎〇六・六六九一・二〇二八)

★気づかないで暮らせたか

夢の話である。

狭いアパートの自室に帰ってみると、外の通りから私の部屋の様子がよく見えることに気がついた。壁という壁が、ほとんど外から透けて見える。なぜ、いままで気がつかなかったのだろうか。と思うと、顔から火が出そうに恥ずかしかった。

さっそく、外から見えないようにしようと思ったが、どうしていいのかわからない。カーテンがあればいいのだ



が、とりあえず、今晚一晩でも外から見えないようにしたい。部屋の中をみわたすと、幸い、スーパードルミに行くたびにもらってくるビニールの袋が山のようにある。それを、ひとつひとつ壁に貼っていくことを思いついた。

そうこうしていると、アパートの管理人らしい人が訪ねてきた。ドアをノックしているが、ドアは開けないことにした。ゴミ袋にしていたビニールの袋までも使ってしまったので、部屋中、ゴミが散らばっている。生ゴミすらある。やっぱり人には見せられないと思っただけだ。

ところが、管理人は「部屋のなかを見たい」という。私は背筋が寒くなった。これだけやっても、まだ外から見えているのだと直感でわかった。白いビニールの袋の隙間から、いくつもの目が光っているような気がした。あわてて電気を消し、不在を装った。

それ以来、夜中に、こっそり出て、カップヌードルみたいなものを買って、そのまま家にいることにした。少しでも家を空けていると、誰かに、部屋をのぞかれると思ったからだ。

ゴミは捨てることができなかつた。ゴミ捨て場で、近所の人と会うのが怖かつたし(きつと普段から私の部屋をのぞいていた人たちだった)、自分のゴミから生活が知られてしまうからだ。結果として、部屋のなかにゴミは山積みになったが、やがて、その臭いにも慣れてしまった。

ある日、年老いた両親が連絡もせずに来てくれた。遠くからきてくれたので迎え入れたかったが、こんな部屋を見せるわけにはいかなかった。しかし「とにかくドアを開けなさい」といわれ、少しだけおらずと開けると、グイッと力強く父の手が私の腕をつかんだ。私は泣いて何かを私に訴えていた。私

植物あれこれ

第九回

山口康二郎

— 虫媒花 — (1) ラフレシア

風媒花は風によって花粉袋が運ばれるので花の構造は単純で目だたないものであることは前回述べた通りです。

さて、昆虫によって花粉袋を運んでもらう虫媒花は、虫を集めるためのいろいろなしくみを持つていないと受粉ができない。そこで、あの手、この手で昆虫を迎える手段をもつことが大切です。

虫を誘う手段で共通なことは、花びらを虫に対して魅力的にすること、甘い蜜と

も興奮して、ワーワーとわめいたような気がする。そのうち両親の陰にいた何人かの男の人に私は連れていかれた。何が悪かったのだろう。壁が突然、透けて見えたという日から、何もかもがうまくいかなかった。部屋は散ら

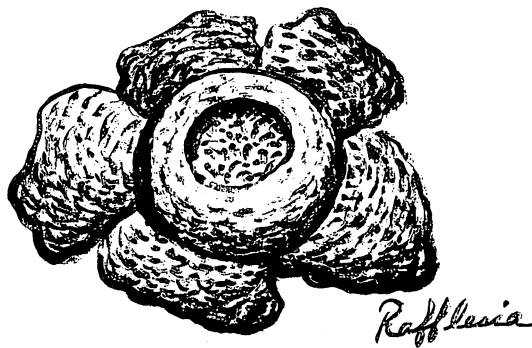
かり、私の服も身体も汚れるようになった。たった一つのこと気づいただけで、こんなことになってしまった。こんなことなら気づかなければ良かった。しかし、気づかずにいるなんて、そんなことが私にできただろうか。

連れていかれた小さい殺風景な部屋に、私は一人、取り残され、壁を叩き、大声でわめいていたところで夢から覚めた。私は、ずいぶんと、うなされていたようだ。
(知)

いう誘惑の源を蓄えることです。

昆虫の視力は決してよくない、その昆虫の目に止まるようにするにはどうすればよいか、さまざまな方法を植物は駆使します。第一に考えられるのは、花びらを大きくして遠くからでもわかるようにすることでしょう。

世界最大の花をご存じですか。ラフレシアといって、これまで見つかった最大の花は直径百二十センチといわれています。シンガポールなど東南アジアの熱帯林の中でその巨大な花を咲かせています。五枚の花



びらはオレンジ色でクリーム色のぶつぶつがいつぱいいついているといわれています。写真やテレビ画面で見たことはありますが、ぜひ実物を見てみたいものです。

ラフレシアの花粉を媒介するのは小型の

ハエだといわれています。このハエをひきつけるために、他の植物と競争した結果、このように巨大な花になったというのが通説ですが、大きくなれる秘密があったのです。

実は、ラフレシアは寄生植物だったので、自生植物は文字通り、自分で栄養を吸収して自分の体をつくっていくので、花や葉やその他の器官を育てるのに、養分とエネルギーを費やすので大きな花を咲かそうとしても限界があります。

ところが、ラフレシアが花を咲かせるために消費する養分は、自分でつくるのではなく、宿主であるブドウ科のつる植物から無制限に吸い取ることができるのです。植物の中でも、自分は働かないで他人の働きで、ちゃっかり生きていく寄生植物は沢山ありますが、これほどぜいたくな植物はありません。

しかし、他の多くの植物は何とか自分の力で沢山の虫を誘い、受粉を行い、子孫を残そうと懸命に工夫しています。今回はそんな植物のけなげな努力を述べてみたいと思います。

マツの花

竹村定子

いつもサロン紙をありがとうございます。毎回、楽しく拝見していますが、中でも山口先生の「植物あれこれ」は、いろいろと参考にさせていただいています。

さて、今号(159号)は、「イネの花」のお話でしたが、「スギやマツの花を知っている人は、少ないのでは…」という個所で思い出しました。

春先のころ、お墓参りに行く道すがら、松の枝が低くたれていて、そこに「マツボックリ」のような花を見つけ、これは珍しいと触ってしまいました。するとその花から胞子のようなものが飛び出しました。私は思わず知らず吸い込んでしまい、それから大変な思いをしました。セキが出るわ、声は出なくなるわ…と。

その花粉を深く吸い込むと、亡くなる人もいると後で聞いてビックリしました。スギ花粉も花粉症の原因になっていると言われていますが「マツの花粉」も怖いものだと思います。

皆さんも、お気をつけくださいなね。

お知らせ

△サロン・あべのV11月の出会い

日時 …… 11月20日(土)午後1時〜4時

場所 …… 育徳コミュニティーセンター

「大阪市阿倍野区阪南町5丁目

15-28

スロープ・車イストイレ有り

テーマ …… 「二次障害の予防について」

～日常生活での工夫～

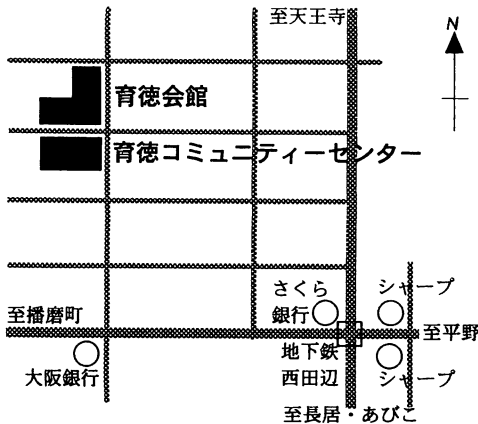
パネラー… 茂原直子氏

南大阪療育園 作業療法士

会費 …… なし

問い合わせ先 …… TEL 06-6691-1028

(富田慶子)



美智子のこんな話

岸田美智子

施設の職員にサービスマナーを伝授？

間近に迫る介護保険導入の動きと共にいろいろな分野でシステム作りや制度などが生まれていますが、特に介護のあり方がどんどん変わってくるようです。

先日、朝日新聞の朝刊(8月14日)を読んでいると、いつもの私の目に止まったのが、『サービスマナー 介護にも』(前号に掲載)という記事です。

最近の若い職員の方々は、人付き合いの経験があまりないようで、マナーの分からない職員が多いと聞きます。そのような状況や介護保険実施の中で、やはり、必要性に目覚めたのでしょうか。大阪府社会福祉協議会の主催で、お年寄りへの言葉づかいや電話の受け答えなどを学ぶ講習会が開かれたそうです。

もちろん、受講者には、障害者施設の職員もいたそうです。基本は、ご利用者第一主義「してあげる」ではなく「させていただく」への意識変革だということだそうです。

私は、この記事を読んでとても良い取り

組みで、施設の職員が入所障害者を対等な人間として見るきっかけになるのではと、大いに期待し拍手をしたくなる思いにとらわれた反面、こんなマナー講習会で本当に障害者の気持ちに沿った介護や、対等な人間関係が作れるだろうか? と、ふと疑問に思いますし、よけいにその上下関係を見えなくしてしまうのではないかと改めて心配してしまいました。

障害者施設の中でよく施設職員が、年上の入所障害者に名前を呼び捨てにしたり、○○ちゃんと呼んだりする場面が未だに多いのですが、このような講習会が広まっていくことで、はたしてなくなっていくのでしょうか? なぜ、障害者は子どもっぽく見られたり、尊敬出来ない低俗な人間に見られるのか。その背景をこの講習会では、伝えることが出来ていないと思います。このような講習会での企画の段階で、障害者の当事者がどれだけ関わっていたのでしょうか。

障害者はその多くが、幼い頃から施設をたらい回しされたり、在宅で親や家族以外の人間関係は作れず、同世代のいろいろな

先月の美智子のコーナーの内容についてですが、私がとても長い原稿を書いてしまったので、スペースの都合上、編集部でコンパクトにまとめていただきました。

でも、私の表現が悪かったのかも知れませんがこの「サービスマナー 介護にも」という記事の内容をよいことだと肯定的になつてしまいました。でも私は読者のみなさんに伝えたかったのはそうではなく、むしろ否定的にとらえた内容だったのです。

今回改めて、掲載させていただきます。

9月27日

岸田美智子

体験も奪われ、その結果として子どもっぽい行動や、考え方などが身につけてしまっていることが多いのです。その一つ一つの問題を、このような講習会の中でも、一例でも良いから取り入れて欲しいものです。皆さんはどう思われますか。この記事を讀まれた感想などぜひお知らせください。

○連絡先 自立生活センター

「MY-DO(まいど)」

大阪市住吉区长居西1-9-12

(キミハウス1階)

TEL 06-6609-3133

電話は早い、
ファックスも
Eメールもある
けど、
こころ伝わる
サロンの絵はがきが
いい。

サロンの絵はがき

五枚組 八〇円

紅葉(もみじ)

♪
秋の夕日に

照る山もみじ

濃いも薄いも

数ある中に

松をいろいろ

かえでやつたわ

山のふもとの

すそもよう

何気なく窓外を眺めていると、
学校帰りの小さな男の子と女の子が肩を寄せ合うようにして、
この「もみじ」の歌をうたいながら通り過ぎて行った。そう言えば、もう紅葉のシーズンなんだ。

これから日増しに秋が深まっていくにつれ、木々の葉が少しずつ紅葉していく。桜前線は九

晴れのち晴れ

⑬

稲垣 恵雄

州から北上するが、紅葉前線は北海道から南下してくる。北海道のカエデが紅葉するのはだいたい十月のはじめだと言われている。そうすると、北海道ではまもなくどこまでも続く大地や高く聳える山々も急ピッチで秋色に染まっていくだろう。

私の友人が毎年、春は桜前線の北上とともに、また秋になれば紅葉前線の南下とともに、それぞれ終息するまで日本列島の旅を続けている。何とリッチでゴージャスな旅だろう、と羨ましく思う。

この友人のように豪華な旅はできないが、私はこの秋には何年ぶりかで手頃な場所を見つけて、赤や黄色に染まった美しい紅葉を愛でながら逍遙しよう、今から楽しみにしている。



サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」11月の出会い

日時 ; 平成11年11月21日(日)

午後1時30分~午後4時

場所 ; 「やすらぎ」

[大阪市淀川区三国本町2-14-3]

内容 ; 「ヨーロッパ福祉施設視察報告」

~ヨーロッパの福祉施設を

スライド紹介~

パネラー: 窪田新一氏

「サロン淀川」代表

会費 ; なし

問い合わせ先 ; 淀川区社協 ボランティア・ビューロー

TEL06-6394-2900

■「ウイズ東淀川」11月の出会い

日時 ; 平成11年11月4日(日)

午後1時30分~4時

場所 ; 東淀川区民会館4階会議室

[大阪市東淀川区東淡路1-4-53]

内容 ; 「あたり前の医療がほしい
~HIV感染者の

叫びに答えて~」

HIV感染者の医療環境のお話

と出版本に至る経過について

パネラー ; 阿鹿麻見子氏

(フリーライター)

会費 ; なし

問い合わせ先 ; 鈴木 昭二

TEL・FAX06-6340-3082

■「サロンいたみ」11月の出会い

日時 ; 平成11年11月27日(土)

午後2時~

場所 ; 伸幸苑(伊丹市寺本6-150)

[TEL0727-78-6765]

内容 ; 絵はがきを作ろう

会費 ; なし

主催 ; すみれ会(ボランティアグループ)

申し込みと問い合わせ先 ; 西原(19時以降)

☎0727-79-4078

FROM EDITOR

編集後記

前号の「明日香村史跡を包む蕎麦の花」(稲垣恵雄)に「明日香遺跡という古いイメージをこんなに新鮮な感じで、大らかに表現されるのは凄いと思う。ご本人は下手の横好きで一向にうまくないと謙遜されているが、どうして、どうして、達人でないといえるものじゃありませんよ」と川西のIさんから電話がありました。(石)

編集人 ; サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.160[`99.10.16.発行] 定価¥100.

代表 ; 山村貴司〒546-0033 大阪市東住吉区南田辺5-1-18 TEL06-6691-9071

連絡先 ; 富田慶子〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 TEL・FAX06-6691-1028

表題 ; 井上憲一・筆 文中イラスト ; 石田美禰子

郵便振替口座 ; サロン・あべの 00950-9-26941

印刷 ; セルフ社〒546-0044 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDEビル2F TEL06-6719-8212

一九九一年九月三日第三種郵便物認可(毎日発行)